

プログラム

1 日目：8 月 10 日（金）

第 1 会場（1F メインホール）

開会式

10：00～10：10

大会長講演

10：10～11：00

PL 災害に立ち向かうとき、看護はいかにリーダーシップを発揮するのか

座長：尾山とし子（日本赤十字北海道看護大学）

演者：増野 園恵（兵庫県立大学 地域ケア開発研究所）

特別講演 1

11：20～12：20

SL1 仙台防災枠組の実行に向けて—国際社会での防災の主流化と日本の貢献—

座長：増野 園恵（兵庫県立大学 地域ケア開発研究所）

演者：西川 智（名古屋大学減災連携研究センター/前国連国際防災戦略諮問委員）

シンポジウム 1

13：30～15：00

「看護管理者として災害に備える」

座長：山崎 達枝（東京医科大学）

太田 晴美（東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科 看護管理領域）

S1-1 中越地震から学ぶ災害発生時の介護サービス（高齢者施設）のあり方

吉井靖子

高齢者総合ケアセンターこぶし園

S1-2 関東・東北豪雨からの教訓

～訪問看護ステーション管理が復興にむけて取り組んできたこと～

真柄和代

筑波メディカルセンター 訪問看護ふれあい

S1-3 病院の災害への備え

長田恵子^{1,2)}

独立行政法人国立病院機構本部 看護担当理事¹⁾、東京医療センター副院長・看護部長²⁾

S1-4 受援力を育む—南海トラフ地震に備えて地域病院の看護管理者がすべきこと—

久保田聡美

高知県立大学 健康長寿センター

「災害における支援者のメンタルヘルス支援」

座長：武用 百子（和歌山県立医科大学 看護キャリア開発センター）

中山 洋子（高知県立大学大学院 看護学研究科 共同災害看護学専攻）

S2-1 災害救援組織における惨事ストレスの影響と対応の現状

大澤智子

兵庫県こころのケアセンター

S2-2 大規模災害における救援者のセルフケアと組織的ストレス緩和策

—精神的健康を保つためにどちらが有効か?—

平野美樹子¹²⁾長岡赤十字看護専門学校¹⁾、長岡赤十字病院MERU²⁾

S2-3 災害における支援者のメンタルヘルス支援

—熊本地震での看護職に対する PTSD・うつ状態悪化防止及び離職予防プログラム—

宇佐美しおり

熊本大学 生命科学研究部

総会

17:00~18:30

第2会場（3F 国際会議室）

教育講演 1

11:20~12:20

EL1 日本における危機対応システム（Incident Command System）：現状と課題

座長：山田 覚（高知県立大学 看護学部・看護学研究科）

演者：秋富 慎司（防衛医科大学校 救急部）

パネルディスカッション 1

13:30~15:00

「災害支援でリーダーシップを発揮する看護：被災者の生活の再構築を支える」

座長：酒井 明子（福井大学 医学部看護学科 災害看護学）

池田 清子（神戸市看護大学 療養生活支援看護学領域 慢性病看護学分野）

PD1-1 熊本地震により病院休止を経験し、地域医療存続のために被災地住民の生活を支えた看護活動

野田輝美

医療法人順幸会阿蘇立野病院

PD1-2 災害支援での看護師の役割

小塚 浩

災害医療センター福島復興支援室

PD1-3 東日本大震災からの復興のあゆみ～はまってけらいん かだってけらいん～

佐藤咲恵

陸前高田市民生部保健課 副主幹

- EL2 災害復興法学のすすめ：災害看護学および看護教育課程における生活再建法制度の知識習得の必須性
 座長：石井美恵子（国際医療福祉大学大学院 災害医療分野）
 演者：岡本 正（銀座パートナーズ法律事務所・弁護士・博士（法学）・
 慶應義塾大学非常勤講師）

第3会場 (4F 401+402)

一般演題（口演） 1

11:20~12:20

「災害の実態調査（1）」

- 座長：高橋 和子（宮城大学 看護学群在宅看護学）
- O1-1 災害により長期の避難生活を余儀なくされる療養者への看護支援者モデルの構築
 齋藤正子
 東京家政大学 健康科学部 看護学科
- O1-2 熊本地震に対する A 病院の病棟看護師の行動調査
 —そのとき看護師は何を考えてどのように動いたのか—
 山本優貴、後藤知佳
 独立行政法人 労働者健康安全機構 熊本労災病院 西3病棟
- O1-3 災害時に血液透析患者が広域避難を決定するまでの思いに関する研究
 大久保貴仁¹⁾、酒井明子²⁾
 総合大雄会病院¹⁾、福井大学医学部看護学科災害看護学²⁾
- O1-4 日本で発生した地震災害における糖尿病をもつ被災者の困難に関する文献検討
 大山祐介、永田 明
 長崎大学 大学院 医歯薬学総合研究科 保健学専攻

学会企画 1 組織会員委員会

13:30~15:00

- GK1 組織会員にできること
 担当理事：足立久美子（兵庫県災害医療センター）

学会企画 2 用語検討委員会

15:20~16:50

- GK2 災害看護用語検討プロジェクトの取り組み
 担当理事：酒井 明子（福井大学 医学部 看護学科）

第4会場 (4F 403)

一般演題 (口演) 2

11:20~12:20

「支援活動報告」

- 座長：鴫田 猛 (亀田医療技術専門学校)
- O2-1 九州北部豪雨災害における福岡県看護協会災害支援ナース派遣報告
—災害支援ナース派遣前の視察調査を行った活動から—
清末定美¹⁾、岡崎敦子²⁾
日本赤十字九州国際看護大学¹⁾、久留米大学病院²⁾
- O2-2 九州北部豪雨災害における福岡県看護協会災害支援ナース派遣報告
—継続した支援を行うための課題—
岡崎敦子¹⁾、清末定美²⁾
久留米大学病院¹⁾、日本赤十字九州国際看護大学²⁾
- O2-3 熊本地震における避難所支援の活動報告
木村直也¹⁾、古賀聖典²⁾
山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院¹⁾、日本赤十字広島看護大学²⁾
- O2-4 災害ボランティア活動における学生の学び—秋田県豪雨災害における経験から—
新沼 剛¹⁾、及川真一²⁾、佐藤絃子¹⁾、廣渡太郎¹⁾
日本赤十字秋田看護大学 看護学部¹⁾、日本赤十字秋田短期大学 介護福祉学科²⁾

ワークショップ1

13:30~15:00

WS1 災害支援ツールとしてのGIS

企画担当：服部 兼敏 (奈良学園大学 医療保健学部)

ワークショップ2

15:20~16:50

WS2 被災・喪失体験をした子どもの特徴と支援について

～子どもたちを地域で寄り添い、支えあうために、私たちができること～

企画担当：佐藤 利憲 (福島県立医科大学 看護学部)

第5会場 (5F 501)

一般演題 (口演) 3

11:20~12:20

「災害訓練 (1)」

- 座長：森下 安子 (高知県立大学 看護学部 看護学科)
- O3-1 避難所運営ゲームを用いた災害対策教育の効果の検討
—東京都千代田区における帰宅困難者対策の一事例—
駒形朋子、谷本美保子、古屋裕美、小曾根京子、鴨田玲子、佐々木吉子
東京医科歯科大学 大学院保健衛生学研究科 共同災害看護学専攻

- O3-2 効果的な災害トリアージ学習会の検証
—ARCS モデルに基づいて企画した学習会の調査結果より—第2報
吉田浩太、森野陽介
東海大学医学部附属八王子病院
- O3-3 災害訓練におけるトリアージ黒エリアでの訓練内容と教育ニーズの検討
—全国の災害拠点病院の看護師を対象とした質問紙調査より—
石田佳代子
大分県立看護科学大学 看護学部 看護学科
- O3-4 メタ認知学習法を用いた被災模擬体験に基づく防災学習法の開発
小島善和、内潟恵子、岸田るみ、高柳千賀子、宮野公恵、成松玉委
東京情報大学 看護学部

ワークショップ 3

13:30~15:00

- WS3 てつがくカフェー災害看護における「リーダーシップ」とは?—
企画担当：西村 高宏 (福井大学医学部 医学教育・倫理学)

学会企画 3 国際交流委員会

15:20~16:50

- GK3 仙台防災枠組みを踏まえ、改めて看護から Build Back Better を考える
担当理事：南 裕子 (高知県立大学大学院 看護学研究科)

第6会場 (5F 502)

ワークショップ 4

13:30~15:00

- WS4 避難所のゴミを利用した生活改善の可能性を体験してみませんか?
—使用済みペットボトル等の再利用方法の提案—
企画担当：陣立 良太 (横須賀市役所 こども青少年支援課)

ワークショップ 5

15:20~16:50

- WS5 シミュレーション「災害発生時、避難所入り口、受付での部屋割り区分における
要配慮者トリアージと人材」
企画担当：小原真理子 (日本赤十字看護大学 武蔵野地域防災活動ネットワーク)

第7会場 (5F 503)

交流集会 1

11:20~12:20

- KS1 精神障害入院患者を守るために
—実際の対応事例や精神科看護師教育(訓練)から精神症状判断・対応を考えよう—
企画担当：松田 優二 (東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科)

KS2 災害看護の多様な教育におけるそれぞれの役割や活動

～専門看護師、DNGL、国際緊急援助隊医療チームの経験から～

企画担当：有坂めぐみ（兵庫県立大学大学院 看護学研究科 共同災害看護学専攻）

KS3 地域における子どもへの防災教育の取り組み

—公立看護系I大学災害ボランティアサークル活動を通して—

企画担当：武山 雅志（石川県立看護大学）

KS4 避難所における看護支援の評価～可視化できるリーダーを目指して～

企画担当：西川 愛海（高知県立大学大学院 看護学研究科 共同災害看護学専攻）

第8会場（5F 504+505）

「災害管理体制・備え（1）」

座長：前田久美子（日本赤十字看護大学）

O4-1 A病院看護師の災害初動に関する知識調査—アンケート用紙を用いたサーベイ—

大湯 静

社会医療法人財団 董仙会 恵寿総合病院

O4-2 看護職員の防災に関する知識の現状と災害看護リンクナースの取り組み

佐藤こずえ、若林佐緒理

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院

O4-3 ネットワーク機能を備えた微弱無線機器による狭域情報配信システムの提案

川上 勝¹⁾、陣立良太²⁾自治医科大学 看護学部¹⁾、横須賀市役所 こども青少年支援課²⁾

O4-4 既存インフラである大学サーバーを活用した学生の安否連絡訓練の評価

山田正実¹⁾、高島葉子²⁾、河原畑尚美¹⁾、大口洋子¹⁾、野口裕子¹⁾新潟県立看護大学¹⁾、前新潟県立看護大学²⁾

「災害看護教育（1）」

座長：河原 宣子（京都橘大学 看護学部）

O5-1 避難所ロールプレイングシミュレーション ROSES の効果

—Hobfol の PFA 介入原則からの示唆—

平野美樹子

長岡赤十字看護専門学校

- O5-2 災害看護基礎教育のトリアージ体験型学習による学習効果
矢野貴恵¹⁾、船瀬孝子²⁾、奥野修一¹⁾
藍野大学 医療保健学部 看護学科¹⁾、天理医療大学 看護学科²⁾
- O5-3 A看護学校における「災害看護」授業の実践報告
—4つの訓練の効果と学生の満足度を調査して—
長瀬真理子
JA岐阜厚生連 看護専門学校
- O5-4 看護大学生との災害訓練に対する病院スタッフの認識と大学の課題
中尾八重子、片穂野邦子
長崎県立大学 看護栄養学部

一般演題 (口演) 6

14:40~15:40

「災害訓練 (2)」

- 座長：船橋香緒里 (修文大学 看護学部)
- O6-1 平成29年度大規模地震時医療搬送訓練におけるDMAT活動拠点本部訓練、
および院内実動訓練からの考察
吉次育子
神戸大学医学部附属病院 救急・放射線部
- O6-2 A病院での多数傷病者受け入れ訓練の変遷と課題—12回行った訓練を俯瞰的に振り返る—
渡邊一也
公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院 救急センター
- O6-3 民間病院がここまでできた～はじめて災害訓練を経験し得られたこと～
林ミユキ
医療法人 南労会 紀和病院
- O6-4 ICUにおける災害実動訓練確立への取り組み—アクションリサーチ法を用いて—
石田珠水、二川原知恵子、井上由美子、藤田満子、重見奈名代
社会医療法人神鋼記念会神鋼記念病院

一般演題 (口演) 7

15:50~16:50

「災害看護教育 (2)」

- 座長：牧野 典子 (中部大学 生命健康科学部 保健看護学科)
- O7-1 産官学が協働した「災害時要配慮者へのケア研修会」の実施と評価 (第1報)
～参加者の意識の変化に注目した研修会の評価～
野島真美¹⁾、畠山典子²⁾、神原咲子³⁾
高知県立大学看護学研究科 共同災害看護学専攻¹⁾、高知県立大学看護学部²⁾、高知県立大学看護学研究科³⁾
- O7-2 産官学が協働した「災害時要配慮者へのケア研修会」の実施と評価 (第2報)
～地域エンパワメント向上に向けたプログラムの検討～
畠山典子¹⁾、野島真美²⁾、神原咲子³⁾
高知県立大学看護学部¹⁾、高知県立大学看護学研究科 共同災害看護学専攻²⁾、高知県立大学看護学研究科³⁾
- O7-3 A病院における看護師を対象とした災害対応に関する研修についての報告
小山明里、猪狩遼子、梶山和美
北里大学病院

- O7-4 災害支援時における看護師と看護管理者の認識の違い
—文献検討からサポート体制づくりを考察する—
城尾恵子
姫路大学看護学部

第9会場 (4F 404)

一般演題 (示説) 1

11:20~12:20

「災害管理体制・備え (1)」

- 座長：黒瀧安紀子 (京都橘大学 看護学部 看護学科)
- P1-1 災害時要援護者対策における失敗体験からの学び
—風水害防災行動を時系列で整理したマニュアルの作成—
長谷川さおり¹⁾、花尻潤子¹⁾、穴吹浩子²⁾、川口 淳³⁾、河原宣子⁴⁾
紀南医師会 訪問看護ステーション ほほえみ¹⁾、京都第二赤十字病院²⁾、三重大学大学院 工学研究科³⁾、京都橘大学 看護学部⁴⁾
- P1-2 山間地域の住民の自然災害への準備状況と防災への意識の関連
黒田梨絵、山崎さやか
健康科学大学 看護学部 看護学科
- P1-3 地域在住高齢者の防災行動の関連要因—社会関係に着目して—
山崎さやか、黒田梨絵
健康科学大学 看護学部 看護学科
- P1-4 A 県南部沿岸地域の災害時要配慮者である後期高齢者の特性が災害準備に及ぼす影響
服部由佳、磯和勅子、平松万由子、北川亜希子
三重大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 老年看護学分野
- P1-5 大規模被災想定特定地域における認知症対応型共同生活介護管理職の災害意識
飯盛茂子¹⁾、粕谷恵美子²⁾、甲村朋子³⁾、森 幸弘⁴⁾、森本直樹⁵⁾
修文大学 看護学部 看護学科¹⁾、中部学院大学 看護リハビリテーション学部 看護学科²⁾、人間環境大学 看護学部³⁾、中部大学 生命健康科学部 保健看護学科⁴⁾、朝日大学 保健医療学部 看護学科⁵⁾
- P1-6 鳥取県中部地震被災地の地域住民が考える災害時に必要な能力
田中 響、田中美菜江、藤原美智子、岡本朋子、佐々木晶子
鳥取看護大学 看護学部

一般演題 (示説) 2

13:30~14:30

「災害の実態調査」

- 座長：及川 裕子 (目白大学 看護学部 看護学科)
- P2-1 東日本大震災後の避難所における血圧管理
佐々木美絵¹⁾、金谷泰宏²⁾
兵庫県立大学 地域ケア開発研究所¹⁾、国立保健医療科学院 健康危機管理研究部²⁾
- P2-2 大規模災害時における在宅知的障がい者の親が求める近隣の避難行動支援
宮坂順子¹⁾、佐々木久美子²⁾
宮城大学大学院 看護学研究科¹⁾、宮城大学看護学群²⁾

- P2-3 平成 28 年熊本地震における被災市町村の保健医療の課題と支援ニーズ
—発災から避難生活、仮設住宅等への移動までの課題—
内木美恵¹⁾、織方 愛¹⁾、東 智子²⁾、今村尚美²⁾、村田美和²⁾、西村佳奈美²⁾
日本赤十字看護大学¹⁾、熊本赤十字病院²⁾
- P2-4 平成 30 年 2 月に発生した豪雪災害による独居高齢者の現状調査
～福井県 A 町に焦点をあてて～
酒井彰久、清水誉子、酒井明子
福井大学 医学部 看護学科
- P2-5 大規模災害発生時の高齢者の避難行動および避難生活に対する備えの実態
—デイサービス利用者への質問紙調査—
田島真実¹⁾、加藤慶洋²⁾、森畝かな子³⁾、横木千裕⁴⁾、和田実李⁵⁾、小野治子⁶⁾、
小山珠美⁷⁾、テイラー栄子⁷⁾、桜井礼子⁷⁾
国立病院機構 村山医療センター¹⁾、国立病院機構 災害医療センター²⁾、東京都立松
沢病院³⁾、順天堂大学医学部附属練馬病院⁴⁾、相模原赤十字病院⁵⁾、大分県立看護科学
大学⁶⁾、東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部⁷⁾
- P2-6 台湾における高齢者グループホーム職員の災害意識
粕谷恵美子¹⁾、飯盛茂子²⁾、甲村朋子³⁾、森 幸弘⁴⁾、森本直樹⁵⁾
中部学院大学看護リハビリテーション学部看護学科¹⁾、修文大学看護学部看護学科²⁾、
人間環境大学看護学部³⁾、中部大学生命健康科学部保健看護学科⁴⁾、朝日大学保健医療
学部看護学科⁵⁾

一般演題 (示説) 3

14 : 40～15 : 40

「災害管理体制・備え (2)」

- 座長：笥 淳夫 (工学院大学 建築学部)
- P3-1 大学立地地域における災害時の学生による応援体制整備に向けた活動
清水誉子、酒井彰久、酒井明子、月田佳寿美
福井大学 医学部 看護学科
- P3-2 犯罪機会を低下させる避難所運営についての一考察
渡邊和信
順天堂大学 保健看護学部
- P3-3 地域の防災力向上に向けた大学生の地域交流に関する課題
網木政江
山口大学大学院 医学系研究科
- P3-4 旅館・ホテルにおける交差感染リスクの実態
佐藤祐佳、三橋睦子、立石麻梨子
久留米大学 医学部 看護学科
- P3-5 日本国内で発生したマシガザリングの健康障害に関する文献検討
佐々木康介¹⁾、藤井直樹²⁾、宮前 繁³⁾、谷本美保子³⁾、周東美奈子²⁾、中島麻紀⁴⁾、
有坂めぐみ⁵⁾、神原咲子⁶⁾
高知県立大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻¹⁾、日本赤十字看護大学大学院
看護学研究科 共同災害看護学専攻²⁾、東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科
共同災害看護学専攻³⁾、千葉大学大学院看護学研究科 共同災害看護学専攻⁴⁾、兵庫県
立大学大学院 看護学研究科 共同災害看護学専攻⁵⁾、高知県立大学大学院看護学研
究科 教授⁶⁾

- P3-6 レジリエンスの促進要因を取り入れた消防職員の惨事ストレスケアシステムの開発
—消防職員へのインタビューによるニーズ調査—
石井敦子、武用百子、池田敬子
和歌山県立医科大学 保健看護学部

第 10 会場 (4F 405)

一般演題 (示説) 4

14 : 40 ~ 15 : 30

「災害訓練」

- 座長：岡崎 敦子 (久留米大学病院)
- P4-1 A 病院における災害机上シミュレーションと今後の課題
齊藤和弘、酒井貴伸
国保 依田窪病院
- P4-2 防災訓練から見えた課題～CSCA の確立を目指して～
加藤夏美
トヨタ記念病院 ER
- P4-3 ICU におけるアクションカードの有用性
岡 夏希、内芝秀樹
和歌山県立医科大学附属病院 ICU
- P4-4 血液・腫瘍内科病棟における防災訓練の実際～アクションカード改訂後の評価～
深江優花、矢永洋子、城崎清子、東海林眞実、中河原千明、浦川未帆
久留米大学病院 東棟14階
- P4-5 平成 29 年度政府大規模地震時医療活動訓練にて
DMAT 活動拠点本部の搬送等調整担当を経験して
木之下護、吉田尚史
兵庫県立尼崎総合医療センター

一般演題 (示説) 5

15 : 50 ~ 16 : 50

「教育・その他」

- 座長：野呂千鶴子 (国際医療福祉大学 保健医療学部 看護学科)
- P5-1 模擬避難所宿泊体験に就寝前抄読会を取り入れる意義
内潟恵子、高柳千賀子、小島善和
東京情報大学 看護学部 看護学科
- P5-2 災害支援ナースフォローアップ研修報告
諸岡健一郎、出口智宏、清末定美、尾崎美樹、江草真紀、本城 咲、吉川英理、
福迫直美
福岡県看護協会 災害看護委員会
- P5-3 災害看護専門看護師の役割の妥当性の検討に関する調査
渡邊智恵¹⁾、西上あゆみ²⁾、藤井知美¹⁾
日本赤十字広島看護大学 看護学部¹⁾、藍野大学 看護学部²⁾

P5-4 火山と共生している住民の防災意識

高橋幸子¹⁾、及川裕子¹⁾、日比野直子⁴⁾、滝沢 隆²⁾、野呂千鶴子³⁾、川下貴士⁵⁾

目白大学 看護学部 看護学科¹⁾、日本医療科学大学 保健医療学部 看護学科²⁾、国際医療福祉大学 保健医療学部 看護学科³⁾、岐阜県立看護大学⁴⁾、相模台病院⁵⁾

P5-5 放射線災害における人々の生活と健康に関連するアウトカム指標の開発

～東海村 JCO 臨界事故の文献検討を通して～

漆坂真弓

弘前大学 大学院 保健学研究科

P5-6 災害急性期の避難所における人々の生活と健康に関するアウトカム指標の文献検討

藤井知美¹⁾、渡邊智恵¹⁾、寺田英子²⁾

日本赤十字広島看護大学¹⁾、一般社団法人MIRAI・未来桜坂訪問看護ステーション²⁾